名古屋丸の内ロータリークラブ Weekly Report

例会場　名古屋クレストンホテル　TEL　052-264-8000
例会日時　木曜日　12:30
クラブ会報広報委員長　立石ゆかり
HP　http://rc.nagoya-seinan.org/

2021-22 年度 RI テーマ
会長 シェカール・メータ

奉仕しよう みんなの人生を豊かにするため

承　認	1995.3.28
会　長	亀井　克典
幹　事	松尾雄二郎
事務局	名古屋市中区栄 3-29-1
	名古屋クレストンホテル 1007 号
TEL	052-263-1324
FAX	052-263-0730
Email	seinan1@fancy.ocn.ne.jp

亀井克典会長 年度目標　：ポストコロナの時代に向けて、新たな親睦、交流、奉仕の活動をはじめよう

第1188回 例会　No.25　令和4年5月19日　(木)	
■ﾛｰﾀﾘｰｿﾝｸﾞ	「我等の生業」「四つのテスト」
■出席報告	会員44名中19名出席
■出席率	46.34%　出席計算人数41名
■ゲスト	横田さんゲスト　出口雅士様 (入会予定者)
■スピーカー	田島陽介さん

会長挨拶　亀井克典

今日は横田さんの後任と言うことで、出口さんにゲストにお越しいただきました。ありがとうございます。横田さんも名古屋におられると言う事ですから、また今後もいろいろな場面でお付き合いいただければありがたいなと思っております。
それぞれ皆さん座右の銘といいますか、好きな言葉と言うのはお持ちだと思うのですが、私もいくつかあります、一番は上善如水、上善水の如しというのが自分の好きな言葉で、時々それを思い出しながらやっております。これは老子の言葉で、「上善は水の如し、水はよく万物を利して争わず、衆人の恵むところに拠る」
本来の言葉ですが、水と言うのはご承知の通り、いろんな形を変えて、固体になったり液体になったり、気体になったりいろいろな形に変わって状況に合わせて融通無限に、形を変えて存在していると言うことで、いろいろ毎日企業の経営とかされていると、毎日トラブルの連続でうんざりする。今日何も起こらないとかえって不安になる感じだと思うのですが、そういった時に上善如水と言う言葉を思い浮かべて、無理に争わず冷静に対応すると心がけるようにしております。有名なこの言葉を座右の銘にされた、一番有名な方は黒田官兵衛。豊臣秀吉の軍師として活躍された戦国武将ですが、この人が上善如水と言う言葉を座右の銘にして、隠居して剃髪したときに黒田如水と言う名前になりました。ビートルズに「Let It Be」と言う曲がありますが、「Let It Be」は僕も大好きですが、その歌詞を見ると、上善如水と言うのにつながる歌詞で、翻訳で言うと
「苦難の時にいると気づいたときにマリア様が僕のところに現れて素晴らしい言葉をくれたんだ
Let It Be あるがままなすがままに身を委ねなさい」
というのが「Let It Be」の歌詞の意味ですけれど何か上善如水に通じるなぁと感じております。上善如水と言うのは新潟のお酒で、取り寄せて飲んだことがあります、すっきりとした爽やかな味のお酒です。皆さんも機会があれば楽しんでいただきたいと思います。

ニコBOX

●本日は会員卓話です。
田島陽介さん　よろしくお願いいたします。
亀井会長、加藤、水野、西川、立石、田中、岩田、長谷川、堀江俊通、河原、安江、恵利、後藤、佐久間、髙橋、石井　(敬称略)

横田さん　後任の出口を連れて参りました。
皆様よろしくお願いいたします。

松尾さん　田島さん、ありがとう。
恵利さん次回の卓話よろしくお願いします。

本日合計　37，000 円

今後の例会予定

5 月 26 日(木)休会(定款定款第 7 条第1節—(d)により)
6月2日(木)会員卓話　恵利有司さん
6 月 9 日(木)休会(定款定款第 7 条第1節—(d)により)
6月16日(木)「退任挨拶」 会長・幹事・各委員長
6月23日(木)例会変更「会長幹事慰労夜間例会」安江

会員卓話　田島陽介さん

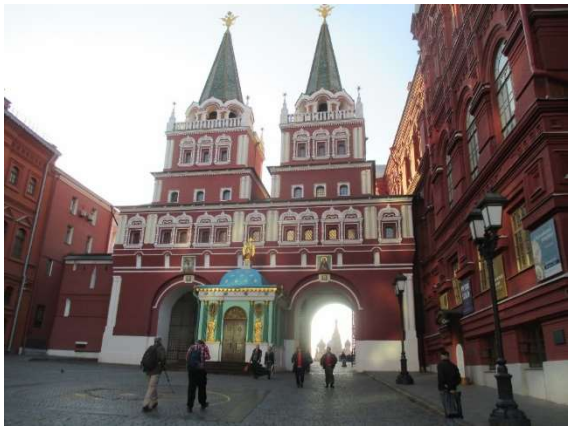
「最新、ロシア・ミャンマー事情」

タイトルに「最新、ロシア・ミャンマー事情」などと言う、すごく僕が知識があるようなタイトルをつけてしまいましたが、申し訳ありません。これは全然違います。ただ単に 7 年前の 2015 年にモスクワに旅行に行ったこと、3 年前の 2019 年の 5 月にミャンマーに旅行に行っ

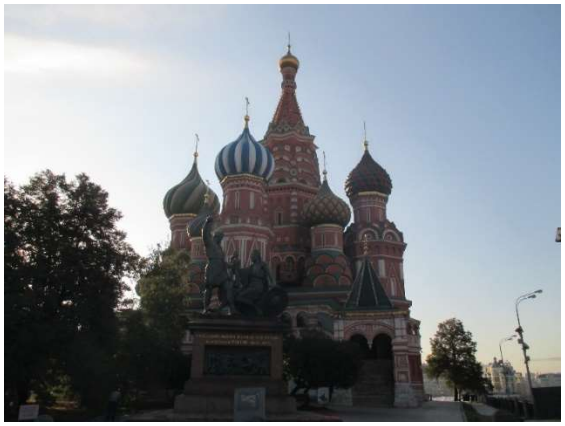
たので、その写真を持ってきただけです。ロシアへ行った時の写真です。これモスクワに着きました。空港は普通の先進国の空港と同じです。

モスクワの街の中では英語表記はほとんどない。
ごく 1 部たまにありますけれど、表記が全くないのでちんぷんかんぷんです。
これモスクワの地下鉄の中ですが、旧ソ連圏の地下鉄と言うのはシェルターを兼ねていると思うので、すごく深くに掘ってあって、しかもそれが芸術美術館のように。何もない駅でもこういう彫刻何がいっぱいあります。

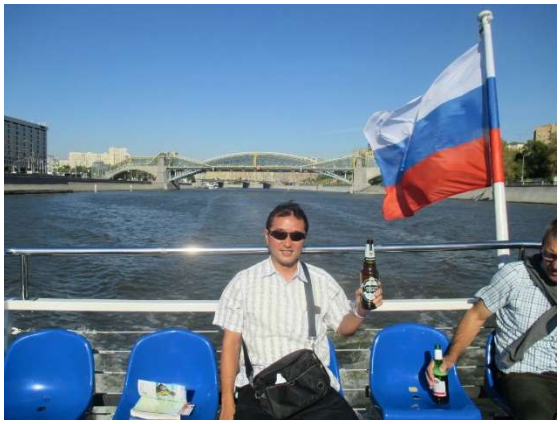
赤の広場です。北側のほうになりますね、ここほとんどここのちっちゃいところから出入りするのです。



有名なモスクワのシンボルがあります。ロシア正教。教会の上に玉ネギをのせたようなロシアの独特な教会です。何かあると軍事パレードをやったりする、赤の広場です。赤の広場のここにあるロシア正教、ワシリイ寺院と言いまして、これがモスクワのシンボルだと僕は思っています。



これがモスクワ川で、パリのセーヌ川クルーズのような同じような感じで、この船に乗ってモスクワの街の中をクルーズします。すごく綺麗です。



これがグム百貨店の中です。東京やパリと全く変わらないです。赤の広場を出た外側もすごく綺麗でゴミ１つ落ちていなくて、びっくりしました。世界の大都市の中で僕が見た中で一番きれいでした。

有名なボリショイ劇場です。ボリショイと言うのはロシア語で大衆と言う意味らしいです。日本人の元バレリーナの方が

案内をしてくれる、館内見学ツアーみたいなのだけ参加しました。

モスクワの銀座みたいなところに T シャツを売ってますが、プーチンをパロディーみたいにしてからかっている T シャツがいっぱい売っているんです。

何かモスクワへ行く前は北朝鮮みたいで、ちょっとでも新大統領を揶揄したら死刑になるようなそのくらいのイメージがありますが、町中で見るとプーチンのパロディーみたいなことが平気で言われてて思うんですが、ロシアという国は社会主義なのか。資本主義なのか、2，3 日居ただけではわからない印象を持ちました。

中心部は本当に高級車ばっかりのベンツ、レンジローバー、BMW、レクサスばっかりですから、少し離れるとこういうクラシックカーみたいのになってきます。

これがウラジオストクからシベリア鉄道が着く駅です。シベリア鉄道を見たいなと思って待って、これはずっとホームに入ってきている電車が、ウラジオストクから 1 万キロ走ってモスクワまでたどり着いたシベリア鉄道。

これは 3 年前に行ったミャンマーです。即刻乗り換えて国内線に乗って、インレー湖という観光地でヘホという空港に来ました。飛行機を降りると、ザ・ローカルで、スーツケースはリヤカーに運びます。ヘホエアポート小さな小学校、村役場みたいな空港です。空港を降りてもなく、交通機関一切なしなのでタクシーに乗って行きました。

ミャンマーのタクシー運転手さんですけれど、サングラスしてエアコンはなく窓全開入れ墨だらけでタンクトップで噛みたばこ噛みながら「お前も噛みタバコ食べるかとか」と言われて勧められたんですけど、日本帰ってきて名タクに乗ると名タクのサービスはすごいなあと実感します。

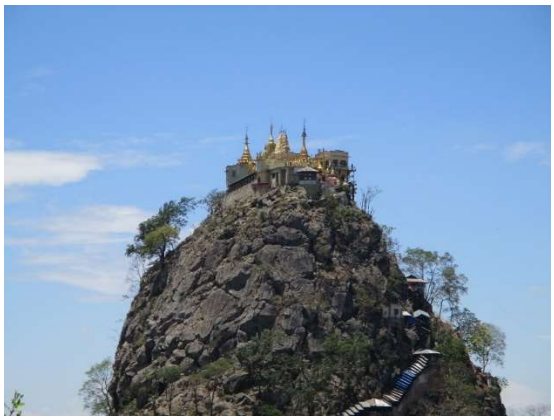
これがインレー湖という有名な観光地の湖で、これはホテルから見たところですが、船に乗って湖の探検に出かけました。湖の周り、こういう風に高床式の水上住宅がずっとあってある部族が住み着いています。

ミャンマーを代表する風景で、ざるみたいなものを使って魚を捕まえます。デモンストレーションをやってくれます、このざるを持ったのですが、陸地でも両手で持ち上げるもの大変なくらい。これ、この写真だけを見ていると大変さが分かりませんけど、サーカスレベル、オリンピックレベルの曲芸だと思いました。

首長族もいました。首長族のこのリングを持たせてもらいましたが、びっくり。本当に重いです。これは既婚者用のリングです。要するにエンゲージリングです。これが付いていない女性は独身。

バカンという世界３大仏教遺跡、カンボジアのアンコールワット　インドネシアのボルブドール、そしてここはミャンマーのバカン遺跡。世界３大仏教遺跡です。

ぽつんと出ているこの上にお寺があり、この階段を登ってお寺についたところです。
これはナッツ教という仏教の一部です。



ヤンゴンから片道 200 キロぐらいのところにある観光地に行きました。ゴールデンロック。ミャンマー人の心のふるさと。落ちそうで落ちないこの岩が、ミャンマーのスリートップのひとつです。これは金箔ですが、向こうの人は大事なものに金箔を張り付けるという風習があります。

日本の東京駅にあたるミャンマーの駅。ヤンゴン駅まで電車に乗ってみました。だいたい時速 20KM。本当に遅く自転車に抜かれるようなスピードですが、面白かったのは駅と駅の間でも人が勝手に飛び降ります。自分の家が近くにあると、駅につかなくても勝手に飛び降りるというなかなか面白い光景でした
電車がヤンゴン駅に到着してもホームがなく、電車から地面まで降りてから線路をまたいでホームに上がる、というなかなか面白い試みです。
結論から言うと食事もおいしいし、僕がいろいろ行ったアジアの国の中でミャンマーが一番楽しかったです。ぜひ皆さんにミャンマーに行かれることをおすすめします。安全ですし、楽しかったですね。で、その国が現在の状況になって、この先僕たちが生きている間に、ミャンマーに行けるチャンスがあるかどうか全くわからないのが残念ですが、もし情勢が追いついてミャンマー行ける機会がありましたら、皆さんぜひ行ってみてください。
僕の正直な感想ではタイ、マレーシア、ベトナムよりミャンマーがずっと面白かったです。以上終わります。